



学校だより

令和3年4月7日

No.1 4月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>



自他肯定感（自己肯定+他者肯定）

校長 荒井 健

新年度がスタートしました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、一昨年度末から続いております感染症対応につきまして、様々な面からご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年度の卒業式で、卒業生に向けて次のようなことを伝えました。

この1年間、必ずしも正解が一つとは言えない課題にみんなが向き合う毎日の中、皆さんは、自分たちの正解を日々創り上げ、そして積み重ねて今ここにいます。そんな皆さんの姿に逞しさとしなやかさを感じてきました。「柳に雪折れ無し」という言葉があります。柳の枝のような、柔らかさ、しなやかさの中に、本当の強さがある、というような意味です。これから歩む生活の中でも、ぜひ、逞しさとしなやかさを併せ持って進んで行ってください。皆さんが切り拓いていく未来に大いに期待しています。



今年度も、先が見通せない状況は続きそうですが、日々様々な工夫を考え、加えながら、教育活動のさらなる充実を目指して進んでいきたいと思っております。

今年度より GIGA スクール構想も本格スタートします。タブレット端末を中心に ICT 機器を活用し、教育活動をさらに充実させてまいります。



行事関係につきましては、現時点では、宿泊行事を含め、例年通りの日程を考えております。今後、状況によっては日程変更も考えながら、実施を目指してまいります。各行事の実施方法につきましても、状況に合わせ、実施可能な内容を臨機応変に考え、実現を目指してまいります。

「挨拶と自己肯定感」への取組につきましても引き続き大切にしていきたいと思っております。「挨拶をすすんでできるようになれば、自己肯定感も高まる」という仮定のもと、平成29年度より挨拶指導を通して自己肯定感を高める取組を継続して4年。昨年度は、「大声を出すのではなく、マスク越しの心をこめた挨拶、目と目を合わせた挨拶」を勧めてきました。ご家庭、地域におきましても、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。さらに、今年度は、これまで目指してきた「自己肯定感」に「他者肯定感」を加えた「自他肯定感」という視点からこの取組を進めてまいります。「自分のよさにも他者（友達）のよさにも気づき、自分も他者（友達）も大切にすること」という気持ちを育てながら、「他者（友達）によさを認められることで、自分への自信を高め、他者（友達）のよさをより一層認められるようになる」というような好循環につなげていきたいと思っております。ぜひ、ご家庭、地域におかれましても、子どもたち一人ひとりのよさを見つめ、伝えていただければ、と思っております。

そして、全ての教育活動をとおして、本校の教育目標「健康で かがやく子」を目指して、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

今年度も、本校教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。